

イロハモミジ

樹形



葉



樹皮



イロハモミジ

【分類】 カエデ科 カエデ属

【樹形】 落葉高木。高さは10～15mになる。

【葉】 対生。葉身の長さは3～7cmで掌状に5～9裂し、裂片には鋸歯がある。

【樹皮】 なめらか。

【花】 雌雄同株。垂れ下がった花序に暗紅色の花をつける。花期：4～5月。

【果実】 翼果。長さは1～2cm。果期：7～11月。

【分布】 本州、四国、九州の丘陵帯。

【特徴・用途】

山地の日当たりのよい、やや湿気のある沢沿いや斜面に自生する。

庭木や公園樹として植栽される。

材は建築材、器具材、楽器材に利用される。

キハダ(黄膚)

樹形



葉



樹皮



キハダ(黄膚)

【分類】 ミカン科 キハダ属

【樹形】 落葉高木。高さは20～25mになる。

【葉】 奇数羽状複葉で対生する。小葉の長さは4～12cmで、ふちは全縁。

【樹皮】 縦に裂ける。

【花】 雌雄異株。円錐花序に黄緑色の花を多数つける。花期：5～7月。

【果実】 核果。1cm位の球形で黒く熟す。果期：9～10月。

【分布】 北海道、本州、四国、九州の山地帯。

【特徴・用途】

山地の沢沿いの林内などに自生する。

公園樹として植栽される。

材は建築材、器具材、家具材に利用される。

内側の皮は、薬となる。(胃薬とても苦いらしい!)



ケヤキ(欒)

樹形



葉



樹皮



ケヤキ(欒)

- 【分類】ニレ科 ケヤキ属
- 【樹形】落葉高木。幹は直立し、扇形の樹形になる。高さは20~30m。
- 【葉】互生。葉身の長さは3~14cmで、ふちには鋸歯がある。
- 【樹皮】若い木では横長の皮目があり、成長すると不規則に剥がれる。
- 【花】雌雄同株。小さく地味な花が集まってつく。花期：4~5月。
- 【果実】そう果。5mm位の偏球形、枝とともに落ちる。果期：10月ごろ。
- 【分布】本州、四国、九州の丘陵帯~山地帯。

【特徴・用途】

山地や丘陵の肥沃な場所に自生し、川岸などに多く見られる。
街路樹や公園樹として植栽される。
古くから建築材として用いられている。木目が美しい
漆器の木地や額縁、楽器などに利用。

コナラ(小楡)

樹形



葉



樹皮



コナラ(小楡)

- 【分類】ブナ科 コナラ属
- 【樹形】落葉高木。高さは20~25mになる。
- 【葉】互生。葉身の長さは7~14cmで、ふちには鋸歯がある。
- 【樹皮】縦に裂ける。
- 【花】雌雄同株。雄花序は尾状に垂れ下がってつく。花期：4~5月。
- 【果実】堅果。長さ2cm前後のどんぐり。果期：開花した年の秋。
- 【分布】北海道、本州、四国、九州の丘陵帯~山地帯。

【特徴・用途】

日当たりのよい山野に自生する。
公園樹として植栽される。
材は建築材、器具材、家具材に利用される。
シイタケ栽培の原木

